



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは
こうへい
山田耕平
です

2024.2.8 No.502

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを

ご活用下さい



岸本区長 2024年度予算案を発表

学校給食費無償化継続・対象拡大等が前進

新年度予算に計上された事業（一部）

- 防災・減災への取組強化 **26億2168万6千円**
備蓄品の充実、震災救援所へのポータブル蓄電池の配備、感震ブレーカーの設置促進、建物の耐震化・不燃化、狹隘道路の道路拡幅、突出した電柱移設
- グリーンインフラによる雨水流出抑制対策の強化 **9516万円**
- 区役所本庁舎で調達する電力を100%再生可能エネルギーへ **1億623万3千円**
- 学校給食費の無償化 **23億7705万8千円**
区立小・中・特別支援学校給食費無償化
国立・私立等小・中学校給食費相当額にあたる給付金の支給
- 教育相談体制の充実 **7547万円**
スクールカウンセラーの拡充・スクールソーシャルワーカーの配置方法の見直し
- ヤングケアラーの支援 **1242万7千円**
LINEを活用した相談の実証実験の実施
高校生世代の実態調査の実施等
- 会計年度任用職員給与の見直し **10億4460万3千円**
報酬額の上限等の見直し・勤勉手当の支給
公契約条例労働報酬化減額の引き上げ
下限額1,138円→1,231円8.17%引き上げ
- 地域包括支援センター（ケア24）運営事業者への財政支援拡充 **1億1019万5千円**
- 学校トイレの洋式便器化の推進 **1億5千万円**
- 生理用ナプキンの無料配布の拡充 **98万5千円**
区役所本庁舎、地域区民センター（3所）

杉並区議会の傍聴にお越しく下さい!

岸本区政に変わり、杉並区議会では活発な議論が行なわれる一方、議会の品位を貶める暴言等も繰り返されています。ぜひ、区議会の傍聴にお越し頂き、区政・区議会の監視もお願いします。

1月31日、岸本区長は記者会見をひらき、杉並区の来年度予算案を発表しました。2月6日から始まる杉並区議会第一回定例会で審議されます。

**党区議団の提案や要求
多数反映される予算案に**

防災関連では、能登半島地震を踏まえ、発災後3日分の食料や間仕切り、トイレ収便袋、女性特有の必需品などの備蓄品をはじめとした費用26億円余が計上されました。

昨年10月から始まった区立学校の学校給食費無償化は継続し、新たに国立や私立に通う児童生徒にも給食費相当額に当たる給付金を支給することが示されました。



2月9日から始まる杉並区議会第一回定例会では、代表質問で取り上げると共に、党区議団はさらなる区民要求の実現に向け、全力を尽くす決意です。

会派を代表して代表質問

ヤングケアラーの支援、労働者の処遇改善等の費用が計上されたことも重要な前進です。

この他にも、前区政では進まなかった学校トイレの洋式化促進、生理用品の区役所本庁舎等への配置など、日本共産党区議団が求めてきたことが多数反映されました。

物価高騰が深刻化している今こそ

公営住宅の拡大、家賃助成制度の早期実施を



危機管理室長に申し入れ書を手渡し、対応を要請。

危機管理室長に申し入れ書を手渡し、対応を要請。
また、今回の地震を受け、多くの区民が、首都直下地震等が起きたらどうなるのか、杉並区の対策は大丈夫かなど不安を募らせており、区の震災対策について、直ちに着手すべきことや準備をすすめるべき点について提案しました。
第一回定例会において、対策拡充を求めます。

1月18日、日本共産党区議団は、岸本区長に対し、能登半島地震被災地への支援強化とともに、杉並区としての震災対策の総点検と対策強化を求める申し入れを行いました。（主な申し入れ項目は下記参照）

長期化する避難生活 被災地の要望を把握し最大限の支援を

申し入れでは、募金の協力の呼びかけを強めることや、物資について、被災自治体の要望を確認し、速やかに対応すること等を要請しました。

対応した危機管理室長は「区も支援を進めていきたい」と答えました。

その後、区は、交流自治体である福島県南相馬市を通じて石川県七尾市が物資を求めていることを把握し、**わたし**22日、保存水2リットル1200本、クラッカー5600食、おかゆ1400食、ブルーシート150枚などを危機管理室の職員5名が現地に届けました。1月末には保健所職員も派遣しています。

今週のコマ

新春のつどいを開催 赤旗スクープの裏側に注目

2月4日（日）、西荻地域区民センターで、山田地域の新春のつどいを開催し、大勢の方に参加して頂きました。山田耕平から、杉並区の来年度予算編成の前向き点、課題、議会の動向等を報告。その後、赤旗日曜版デスクの山田健介さんに、自民党の裏金問題スクープにいたった経緯などを話してもらいました。（写真・下）

山田デスクは、裏金問題の大本には企業・団体献金があり、国民が「不正を許さない」という声を上げ続けることが、自民党を追いつめ「政治とカネ」問題を正す力になる、と話しました。



山田健介（兄）の記者としての調査力は一議員としても大変勉強になります。

【申し入れ項目】（一部抜粋）（党区議団ホームページに掲載）

■被災地支援

- ・ 災害義援金募金箱の設置場所を増やし、ポスター等で協力呼びかけ文を掲示すること。区長を先頭に街頭でも義援金の協力を呼びかけること。よせられた義援金は、速やかに現地に届け、区民にも都度報告すること。
- ・ 国、東京都と調整し、現地の要望に速やかに応えられるよう職員派遣の準備を進めること。
- ・ 支援物資について、被災自治体の要望を確認し、速やかに対応すること。輸送トラック及び運転手はトラック協会の協力を得ている例もあり、参考にすること。

■区の震災対策

- ・ プロジェクトチームを立ち上げ、能登半島地震を参考に被害想定総点検をはじめること。
- ・ 住宅の耐震化、不燃化の促進。助成制度の拡充を検討すること。
- ・ 救出体制、消防水利などの点検と、必要な準備をすすめること。
- ・ 避難所の規模、設備や備品、備蓄食料などの総点検をするとともに、備品等の拡充をすすめること。避難所等での子どもの居場所の確保及び、被災した子どもの心のケア対策の検討を進めること。
- ・ 高齢者、障害者など災害時要配慮者への対策を総点検し、改善、拡充すべきことは実施に踏み出すこと。